

# 平成27年度第2回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議 「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」の概要について

平成27年度第2回新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」を平成27年12月21日（月）に開催しました。

推進会議には、6名の委員のうち4名の委員にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして特定非営利活動法人Mブリッジ理事長の米山 哲司様にご出席いただきました。

なお、推進会議の概要は、以下のとおりです。

## 「県民力を高める絆づくり協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50音順、カッコ書は役職

小堀 正一（三重県視覚障害者協会会員）

中村 勇索（公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター事務局長）

舛本 大輔（国立大学法人三重大学大学院医学部院生）

和田 京子（特定非営利活動法人伊賀の伝丸代表理事）

＜ファシリテーター＞

米山 哲司（特定非営利活動法人Mブリッジ理事長）

### ＜推進会議の進行概要＞

会議の大まかな進行は次のとおり



開会 13:30

戦略企画部企画課長あいさつ

- 1 平成27年度の取組状況について
  - ・平成27年度第1回推進会議の概要
  - ・平成27年度推進会議（全体）の状況
- 2 協創プロジェクト事業概要について
  - ・平成27年度県民力を高める絆づくり協創プロジェクト事業概要
- 3 意見交換
  - ・県民力を高める絆づくり協創プロジェクト推進会議の成果について
  - ・第二次行動計画「施策255 協創のネットワークづくり」について

閉会 15:30

（戦略企画部企画課長あいさつ）

安井戦略企画部企画課長から、今回の会議の目的等について説明いたしました。

- 1 平成27年度の取組状況について
  - ・ファシリテーターの米山さんから平成27年度1回の推進会議の概要を説明いただきました。
  - ・新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議（全体）の開催状況を事務局より説明しました。
- 2 協創プロジェクト事業概要について
  - ・プロジェクトの平成27年度事業の進捗状況を事務局及び関係課から説明しました。
- 3 意見交換
  - 県民力を高める絆づくり協創プロジェクト推進会議の成果について
  - ・このプロジェクトで取り組んできた成果のとりまとめについて、事務局から案を示し意見交換を行いました。

※委員から出された主な意見は、次のとおりです。

○とりまとめにあたっては、取組の成果だけでなく、課題についても記述してはどうか。

○成果をわかりやすく示すという点では、活動実績に係る数値についても記述していく方がよい。

○このプロジェクトでの取組は終わりとなるが、取組自体は続くのでこれからの取組方向も記述してもらおうとよい。

○障がい者芸術文化祭をこのプロジェクトが始まってから4回開催できたことは、一定成果と言える。

○多文化共生の取組では、日本語ボランティアが外国人に日本語を教えることなどを通して外国人と地域をつないでいる（外国人の社会参画につなげている）。こうしたボランティア養成事業もこのプロジェクトの成果と思う。

○高等教育機関の取組では、「学生×地域活動」サポート情報局の他に「学生×地域」カフェの活動発表の場である「ベストプラクティスコンテスト」についても記述してもらいたい。

○（事務局）成果に課題や数値を記述していくことについては、他のプロジェクト推進会議の成果の取りまとめの状況も踏まえて、検討していく。また、個別の取組についての成果の記述に関する意見については、各関係課に伝える。



## 第二次行動計画「施策 255 協創のネットワークづくり」について

- ・現在策定中の「みえ県民カビジョン・第二次行動計画（仮称）」（最終案）の施策 255 協創のネットワークづくりについて、事務局から説明した後、意見交換を行いました。

※委員から出された主な意見は、次のとおりです。

○NPO活動の促進については、課題となっている「人」と「資金」について、強化していく必要があるとのことだが、指定管理者以外の事業としてはどう取り組んでいくのかも教えてもらいたい。

○基本事業 25502 若者の地域活動への参画促進について、「若者」とした理由は何か。

○（事務局）第二次行動計画ではそれぞれの施策において協創を進めていくこととしているが、この施策255では、協創そのものが施策の目的となっており、協創の代表的な取組と言える。また、基本事業25502で対象を若者としているのは、協創の重要な担い手であることと、これまでの学生を対象とした取組から、地域での協創の取組を進めていくことにステージを移すからである。

（ファシリテーター）

○次回も引き続き、このプロジェクトの成果のとりまとめについて意見交換を行いたい。

### 次回の開催予定

今回委員から出された意見を参考にプロジェクトの成果案を取りまとめ、最終となる第3回推進会議において議論していただきます。また、関連する施策や事業の推進に反映していきます。

なお、第3回推進会議は平成28年3月に開催する予定です。